

# ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド

## 愛称：ほっとステップ

### 償還運用報告書(全体版)

第6期(償還日2023年11月9日)

作成対象期間(2023年5月16日～2023年11月9日)

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行ない、償還価額が決定いたしました。

ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2023年11月9日をもちまして繰上償還いたします。(設定日2018年8月17日)	
運用方針	グローバル債券マザーファンドおよび野村短期日本国債マザーファンド(以下「各マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、世界各国の公社債ならびに残存期間の短いわが国の国債等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図るとともに、基準価額の下値抑制を目標に運用を行ないます。各マザーファンド受益証券への投資配分比率は、当ファンドの基準価額(1万円当たり。支払済みの分配金累計額は加算しません。)が予め定められた水準を下回らないことを目標に、当ファンドが実質的に保有する資産全体のリスク水準を考慮して決定します。 実質組入外貨建資産については、マザーファンドにおいて為替ヘッジ(他通貨による代替ヘッジを含みます。)を行なうことを基本とし、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行ないません。ただし、外貨建資産に直接投資をした場合は、原則として、当ファンドで為替ヘッジを行なうことを基本とします。	
主な投資対象	ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド	各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、内外の公社債およびコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	グローバル債券マザーファンド	世界各国の公社債を主要投資対象とします。
	野村短期日本国債マザーファンド	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	ストップライン付き 野村ワールドボンド・ファンド	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	グローバル債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行ないません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	野村短期日本国債マザーファンド	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益を中心に、運用の効率性および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税金 分	中期 騰落			
	円 銭	円	%	%	%	百万円
2期(2020年5月15日)	10,063	0	△0.2	71.4	14.3	2,251
3期(2021年5月17日)	10,103	0	0.4	82.8	12.6	2,680
4期(2022年5月16日)	9,734	0	△3.7	85.0	△2.4	2,432
5期(2023年5月15日)	9,642	0	△0.9	87.2	△1.7	2,196
(償還時)	(償還価額)					
6期(2023年11月9日)	9,574.24	—	△0.7	—	—	1,864

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債券組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首)	円 銭		%	%	%
2023年5月15日	9,642	—	—	87.2	△1.7
5月末	9,629		△0.1	86.8	△0.4
6月末	9,620		△0.2	88.5	0.3
7月末	9,612		△0.3	89.1	0.0
8月末	9,602		△0.4	88.0	0.3
9月末	9,575		△0.7	88.6	1.5
10月末	9,575		△0.7	—	—
(償還時)	(償還価額)				
2023年11月9日	9,574.24		△0.7	—	—

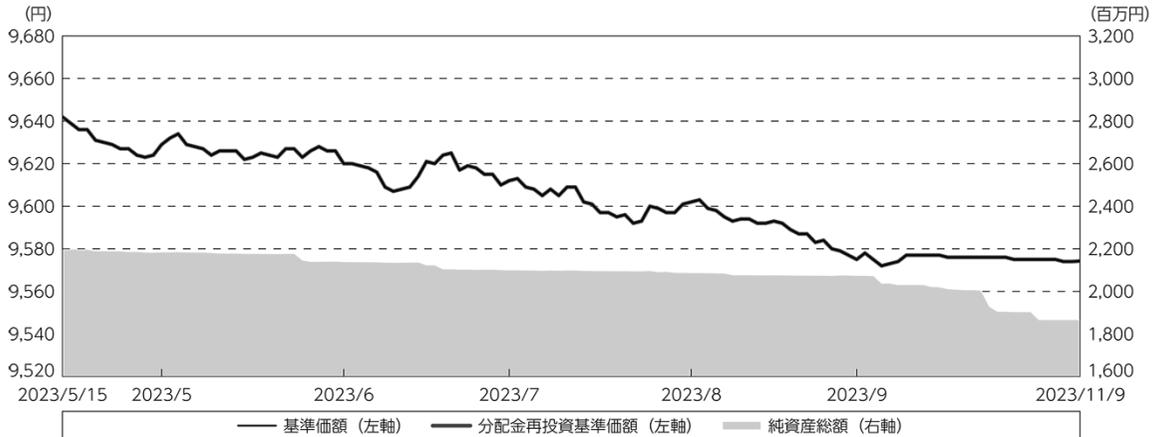
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期首： 9,642円  
 期末(償還日)： 9,574円24銭 (既払分配金(税込み)：-円)  
 騰落率： △ 0.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の変動要因

#### \* 基準価額は0.70%の下落

基準価額は、期首9,642円から償還時9,574.24円に67.76円の値下がりとなりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン(利息収入)。
- (上昇) 欧州通貨が円に対して上昇したことによる為替差益。
- (下落) 債券利回りが上昇(価格は下落)したことによるキャピタルロス(値下がり損)。
- (下落) 欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト(金利差相当分の費用)。

## ○投資環境

### 債券市場<国債利回りは米国・ドイツ・日本で上昇>

米国市場では、インフレは鈍化基調となったものの、底堅い景気回復が継続したことで、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締めサイクルの長期化観測が市場の一部で高まったことなどから、債券利回りは上昇しました。11月に入ると、雇用市場に減速の兆しが見えたことなどを背景に債券利回りは低下（価格は上昇）に転じたものの、期首からは大きめの債券利回り上昇となりました。

ユーロ圏では、景気悪化が続いたものの、ECB（欧州中央銀行）が高インフレなどを背景に金融引き締めの継続姿勢を示したことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

日本では、7月、10月の金融政策決定会合で、日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の10年国債利回りの許容変動幅を実質的に拡大し、同政策の運営を柔軟化したことなどから、債券利回りは上昇しました。

### 為替市場<米ドル・ユーロは円に対して上昇>

日銀が緩和的な金融政策を一部修正したものの、海外の中央銀行が金融引き締めを継続したことなどから、米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド]

期首から当ファンドの繰上償還決定が決まる10月中旬までは、[グローバル債券マザーファンド] 受益証券および、[野村短期日本国債マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持し、[グローバル債券マザーファンド] 受益証券の組入比率は5～20%程度、[野村短期日本国債マザーファンド] 受益証券の組入比率は80～90%程度としました。繰上償還の決定を受けて受益証券の売却を行なった結果、償還時の受益証券組み入れ比率は0%となりました。

また、ストップライン、償還検討ラインの引き上げは行ないませんでした。

### [グローバル債券マザーファンド]

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを3.0～6.5年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～4%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、長期債にも投資しました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

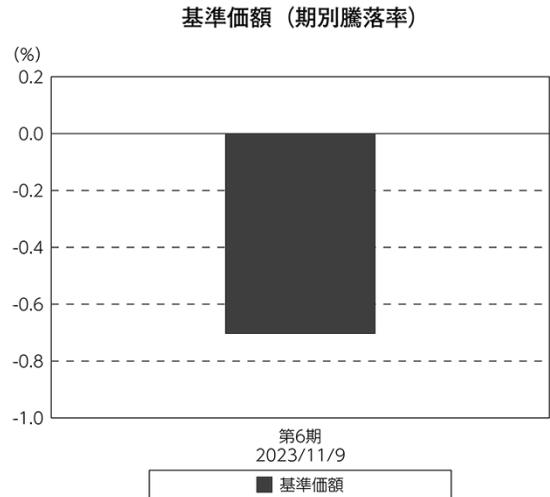
## [野村短期日本国債マザーファンド]

主として残存3ヶ月程度までのTDB(国庫短期証券)により運用いたしました。なお、当ファンドについては、2023年10月23日に繰上償還となりました。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



### ◎分配金

繰上償還のため分配は行ないませんでした。

## ◎設定来の運用経過

＜設定来の基準価額の推移＞



### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時9,574.24円となりました。設定来の分配金累計額は1万口当たり0円でしたので、分配金を加算した値下がり額は425.76円となりました。

#### 第1期（2018年8月17日～2019年5月15日）

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）債券利回りが低下したことによるキャピタルゲイン。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

#### 第2期（2019年5月16日～2020年5月15日）

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）債券利回りが低下したことによるキャピタルゲイン。
- （下落）円高が進行したことによる為替差損。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

#### 第3期（2020年5月16日～2021年5月17日）

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）ユーロ高が進行したことによる為替差益。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

**第4期（2021年5月18日～2022年5月16日）**

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。
- （下落）欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。
- （下落）債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

**第5期（2022年5月17日～2023年5月15日）**

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）欧州通貨が米ドルや円に対して上昇したことによる為替差益。
- （下落）債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

**第6期（2023年5月16日～2023年11月9日）**

- （上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン。
- （上昇）欧州通貨が円に対して上昇したことによる為替差益。
- （下落）債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。
- （下落）欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。
- （下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

当ファンドは、2023年11月9日をもちまして繰上償還となりました。ご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年5月16日～2023年11月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 7	% 0.070	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(3)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(3)	(0.027)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	0	0.002	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	7	0.072	
期中の平均基準価額は、9,602円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

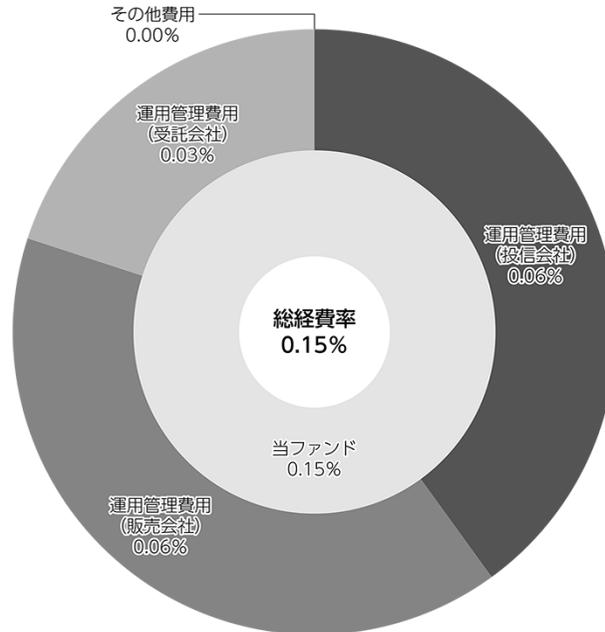
\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.15%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドのその他費用には、ファンドの基準価額がストップラインを下回らないことを目的とした契約の対価としての費用が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年11月9日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル債券マザーファンド	257,772	250,800	671,883	648,530
野村短期日本国債マザーファンド	150,811	150,000	1,913,268	1,902,727

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年11月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年11月9日現在)

2023年11月9日現在、有価証券等の組入れはございません。

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口 数	金 額
	千口	千円
グローバル債券マザーファンド	414,110	
野村短期日本国債マザーファンド	1,762,457	

\*単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2023年11月9日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,868,330	100.0
投資信託財産総額	1,868,330	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年11月9日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,868,330,707
コール・ローン等	1,868,330,707
(B) 負債	3,414,558
未払金	1,930,880
未払信託報酬	1,460,510
未払利息	758
その他未払費用	22,410
(C) 純資産総額(A-B)	1,864,916,149
元本	1,947,847,808
償還差損金	△ 82,931,659
(D) 受益権総口数	1,947,847,808口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,574円24銭

(注) 期首元本額は2,278,493,132円、期中追加設定元本額は8,655,170円、期中一部解約元本額は339,300,494円、1口当たり純資産額は0.957424円です。

○損益の状況 (2023年5月16日～2023年11月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 39,813
支払利息	△ 39,813
(B) 有価証券売買損益	△ 9,896,700
売買益	243,176
売買損	△10,139,876
(C) 先物取引等取引損益	△ 1,701,830
取引損	△ 1,701,830
(D) 信託報酬等	△ 1,482,920
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△13,121,263
(F) 前期繰越損益金	△99,998,852
(G) 追加信託差損益金	30,188,456
(配当等相当額)	( 17,710,490)
(売買損益相当額)	( 12,477,966)
償還差損金(E+F+G)	△82,931,659

\*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年8月17日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年11月9日		資 産 総 額	1,868,330,707円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	3,414,558円
				純 資 産 総 額	1,864,916,149円
受益権口数	85,340,000口	1,947,847,808口	1,862,507,808口	受 益 権 口 数	1,947,847,808口
元 本 額	85,340,000円	1,947,847,808円	1,862,507,808円	1万口当たり償還金	9,574円24銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第1期	1,619,468,857円	1,632,993,008円	10,084円	0円	0%
第2期	2,237,895,396	2,251,946,338	10,063	0	0
第3期	2,652,990,142	2,680,244,675	10,103	0	0
第4期	2,498,636,301	2,432,066,788	9,734	0	0
第5期	2,278,493,132	2,196,865,535	9,642	0	0

## ○償還金のお知らせ

---

1 万口当たり償還金 (税込み)	9,574円24銭
------------------	-----------

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# グローバル債券マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日2023年10月10日）

作成対象期間（2022年10月12日～2023年10月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	世界各国の公社債を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。 投資する公社債は、投資時点においてBBB格相当以上の格付（格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。）を有する公社債とし、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資します。
主な投資対象	世界各国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	期中率				
	円	%	%	%	%	百万円
3期(2019年10月10日)	10,430	5.6	△0.11	87.4	13.3	12,432
4期(2020年10月12日)	10,565	1.3	△0.10	90.7	14.9	9,172
5期(2021年10月11日)	10,424	△1.3	△0.08	80.1	9.5	8,154
6期(2022年10月11日)	9,766	△6.3	0.05	81.8	△10.6	2,822
7期(2023年10月10日)	9,512	△2.6	0.06	79.1	27.0	1,865

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*参考指標は、2021年12月末まで日本円1ヵ月LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは日本円1ヵ月TIBORに変更しております。  
参考指標の騰落率は、日本円1ヵ月LIBORと日本円1ヵ月TIBORをもとに、当社が独自に累積再投資して算出しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

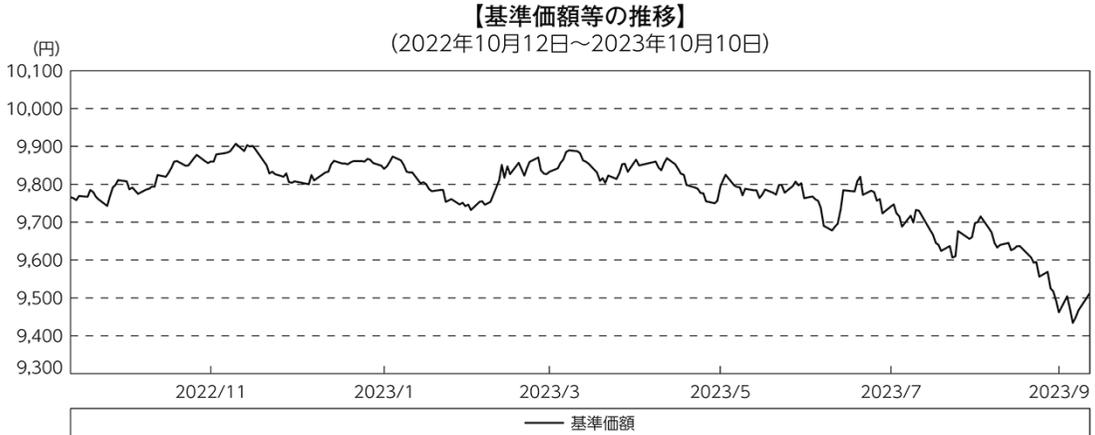
年月日	基準価額		参考指標	債組入比率	債券先物比率
	騰落	率			
(期首) 2022年10月11日	円	%	%	%	%
	9,766	—	—	81.8	△10.6
10月末	9,808	0.4	0.00	85.5	△5.5
11月末	9,860	1.0	0.01	83.4	△10.5
12月末	9,808	0.4	0.01	83.7	△16.5
2023年1月末	9,841	0.8	0.02	94.3	△25.8
2月末	9,751	△0.2	0.02	93.7	△12.4
3月末	9,833	0.7	0.03	85.4	△1.8
4月末	9,833	0.7	0.03	83.6	△4.4
5月末	9,794	0.3	0.04	88.4	△2.5
6月末	9,763	△0.0	0.04	86.9	2.1
7月末	9,741	△0.3	0.05	93.1	0.1
8月末	9,700	△0.7	0.05	94.1	2.9
9月末	9,462	△3.1	0.05	84.4	18.9
(期末) 2023年10月10日	9,512	△2.6	0.06	79.1	27.0

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指標は、日本円1ヵ月TIBORですが、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は2.60%の下落

基準価額は、期首9,766円から期末9,512円に、254円の値下がりとなりました。

- (上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。
- (上昇) 欧州通貨が米ドルに対して上昇したことによる為替差益。
- (下落) 債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。
- (下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

### ○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債等に分散投資を行ない、デュレーション※を1.5～6.0年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンドの外貨エクスポージャー※※はおおむね1～8%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるために短・中期債へ投資したほか、長期債にも投資しました。

※ デュレーションとは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り変化に対する価格変化が大きくなります。

※※外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率です。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円TIBORの収益率※が+0.06%となったのに対し、基準価額の騰落率は-2.60%となりました。

※期中における1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

### (主なプラス要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン。

欧州通貨が米ドルに対して上昇したことによる為替差益。

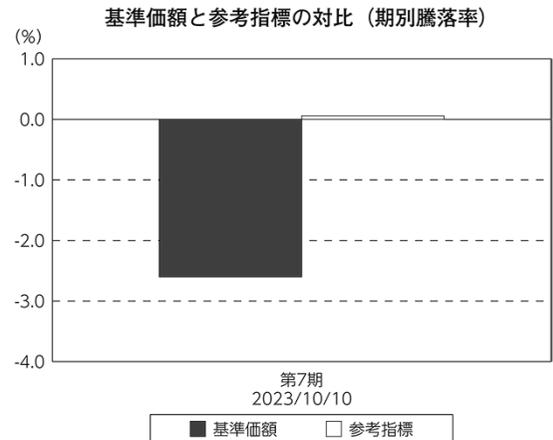
### (主なマイナス要因)

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。  
対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

## ◎今後の運用方針

高インフレに対応した各国の利上げサイクルの終了と先々の利下げが意識されるにつれて、徐々に債券利回りに低下（価格は上昇）圧力がかかりやすくなっていくと想定しています。引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、日本を含む先進国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、地方債）を中心に投資し、金利リスクを適切に調整して安定的な収益の獲得を目指します。また、通貨変動リスクを低減するために為替ヘッジを行ない、グローバル債券マザーファンドの外貨エクスポージャーは同マザーファンドの純資産総額の0～20%程度の範囲で調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 参考指標の騰落率は、日本円1ヵ月TIBORをもとに、当社が独自に累積再投資して算出しております。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年10月12日～2023年10月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.010 (0.010)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	2 (2) (0)	0.016 (0.016) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	3	0.026	
期中の平均基準価額は、9,766円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年10月12日～2023年10月10日)

## 公社債

		買付額	売付額	
国内	国債証券	千円	千円	
		563,677	401,142 (100,000)	
外	アメリカ	千米ドル	千米ドル	
		4,509	3,450	
	特殊債券	399	— ( 200)	
	カナダ	千カナダドル	千カナダドル	
		281	388	
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	
	250	210		
	スウェーデン	千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ	
	—	17,388		
	ノルウェー	千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ	
	3,566	— ( 2,000)		
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	
	ドイツ	国債証券	1,097	985
		特殊債券	238	—
	イタリア	国債証券	2,050	4,697
	フランス	国債証券	402	166
	スペイン	国債証券	1,099	4,465
	ベルギー	国債証券	540	695
	ポーランド	国債証券	千ズロチ	千ズロチ
194	—			
シンガポール	国債証券	千シンガポールドル	千シンガポールドル	
—	— ( 400)			
マレーシア	国債証券	千リンギ	千リンギ	
—	906			
オーストラリア	千豪ドル	千豪ドル		
	1,466	1,456		
特殊債券	—	1,163		
ニュージーランド	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
1,099	553			
メキシコ	千メキシコペソ	千メキシコペソ		
19,076	18,867			

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 3,204	百万円 2,998	百万円 2,454	百万円 3,077

\*単位未満は切り捨て。

\*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年10月12日～2023年10月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年10月10日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	130,000	129,627	6.9	—	0.5	6.4	—	
合 計	130,000	129,627	6.9	—	0.5	6.4	—	

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券 利付（5年）第153回	0.005	20,000	19,871	2027/6/20
国庫債券 利付（10年）第342回	0.1	100,000	100,085	2026/3/20
国庫債券 利付（10年）第371回	0.4	10,000	9,670	2033/6/20
合 計		130,000	129,627	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,760	1,622	241,040	12.9	—	7.8	5.1	—
カナダ	千カナダドル 200	千カナダドル 177	19,473	1.0	—	1.0	—	—
イギリス	千英ポンド 950	千英ポンド 847	154,277	8.3	—	—	8.3	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 10,000	千スウェーデンクローナ 9,690	131,407	7.0	—	—	—	7.0
ノルウェー	千ノルウェークローネ 3,700	千ノルウェークローネ 3,524	48,668	2.6	—	1.2	—	1.4
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	450	378	59,546	3.2	—	3.2	—	—
イタリア	550	537	84,449	4.5	—	4.5	—	—
フランス	450	204	32,161	1.7	—	1.7	—	—
スペイン	330	315	49,553	2.7	—	2.7	—	—
ベルギー	340	263	41,358	2.2	—	2.2	—	—
ポーランド	千ズロチ 200	千ズロチ 193	6,662	0.4	—	—	—	0.4
オーストラリア	千豪ドル 3,800	千豪ドル 3,458	330,041	17.7	—	7.5	10.2	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 570	千ニュージーランドドル 517	46,406	2.5	—	1.2	—	1.3
メキシコ	千メキシコペソ 14,000	千メキシコペソ 12,469	101,758	5.5	—	5.5	—	—
合 計	—	—	1,346,807	72.2	—	38.5	23.6	10.1

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末						
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円			
	国債証券	US TREASURY N/B	2.875	270	250	37,278	2028/5/15	
		US TREASURY N/B	3.5	200	182	27,175	2033/2/15	
		US TREASURY N/B	3.375	600	542	80,564	2033/5/15	
		US TREASURY N/B	4.0	120	104	15,571	2042/11/15	
		US TREASURY N/B	4.0	170	147	21,917	2052/11/15	
	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK FOR INTL COOP	4.625	400	393	58,533	2028/7/19	
小	計					241,040		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル				
	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.75	200	177	19,473	2033/6/1	
小	計					19,473		
イギリス			千英ポンド	千英ポンド				
	国債証券	UNITED KINGDOM GILT	4.5	250	250	45,537	2028/6/7	
	地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)	0.25	300	258	46,962	2026/12/15	
	特殊債券 (除く金融債)	KFW	0.75	400	339	61,777	2027/12/7	
小	計					154,277		
スウェーデン			千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ				
	特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK	0.375	5,000	4,902	66,475	2024/4/11	
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	1.25	5,000	4,788	64,932	2025/5/12	
小	計					131,407		
ノルウェー			千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ				
	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	1,900	1,888	26,073	2024/3/14	
		NORWEGIAN GOVERNMENT	3.0	1,800	1,636	22,594	2033/8/15	
小	計					48,668		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ				
	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.6	150	147	23,224	2033/8/15
		特殊債券 (除く金融債)	KFW	0.125	300	231	36,322	2032/1/9
	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	4.4	550	537	84,449	2033/5/1
	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	0.75	450	204	32,161	2053/5/25
	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.15	170	160	25,183	2033/4/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	3.55	160	155	24,370	2033/10/31	
	ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	0.35	340	263	41,358	2032/6/22
小	計					267,070		
ポーランド			千ズロチ	千ズロチ				
	国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND	3.25	200	193	6,662	2025/7/25	
小	計					6,662		
オーストラリア			千豪ドル	千豪ドル				
	特殊債券 (除く金融債)	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	3.5	1,500	1,436	137,025	2027/7/19	
		INTER-AMERICAN DEVEL BK	3.1	600	562	53,674	2028/2/22	
		KOMMUNALBANKEN AS	2.4	1,700	1,460	139,341	2029/11/21	
小	計					330,041		
ニュージーランド			千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル				
	国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.5	270	261	23,470	2024/5/15	

銘	柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	
	国債証券 NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	300	255	22,936	2033/4/14
小	計				46,406	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券 MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	14,000	12,469	101,758	2031/5/29
小	計				101,758	
合	計				1,346,807	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

### 先物取引の銘柄別期末残高

銘	柄	別	当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
			百万円	百万円
外	債券先物取引	TNOTE (5YEAR)	172	—
		AU10YR	—	74
国		BOBL	256	—
		GILTS	16	—
		ULTRA (10YEAR)	131	—

\*単位未満は切り捨て。

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

### ○投資信託財産の構成

(2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,476,434	78.4
コール・ローン等、その他	407,783	21.6
投資信託財産総額	1,884,217	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建純資産 (1,435,384千円) の投資信託財産総額 (1,884,217千円) に対する比率は76.2%です。

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=148.60円、1カナダドル=109.45円、1英ポンド=182.02円、1スウェーデンクローナ=13.56円、1ノルウェークローネ=13.81円、1ユーロ=157.16円、1ズロチ=34.4259円、1シンガポールドル=108.93円、1リンギ=31.4315円、1豪ドル=95.42円、1ニュージーランドドル=89.65円、1メキシコペソ=8.1607円、1ランド=7.69円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年10月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,262,631,286
コール・ローン等	307,472,397
公社債(評価額)	1,476,434,945
未収入金	1,436,668,429
未収利息	11,160,999
前払費用	4,191,212
差入委託証拠金	26,703,304
(B) 負債	1,397,112,587
未払金	1,392,312,238
未払解約金	4,800,000
未払利息	349
(C) 純資産総額(A-B)	1,865,518,699
元本	1,961,185,421
次期繰越損益金	△ 95,666,722
(D) 受益権総口数	1,961,185,421口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,512円

(注) 期首元本額は2,889,744,994円、期中追加設定元本額は918,600,851円、期中一部解約元本額は1,847,160,424円、1口当たり純資産額は0.9512円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額  
 ・野村ワールドボンド・ファンド 1,801,670,189円  
 ・ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド 159,515,232円

## ○損益の状況 (2022年10月12日～2023年10月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	54,349,708
受取利息	52,762,711
その他収益金	1,686,803
支払利息	△ 99,806
(B) 有価証券売買損益	△122,869,727
売買益	450,349,079
売買損	△573,218,806
(C) 先物取引等取引損益	16,109,991
取引益	57,602,848
取引損	△ 41,492,857
(D) 保管費用等	△ 400,466
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 52,810,494
(F) 前期繰越損益金	△ 67,615,801
(G) 追加信託差損益金	△ 18,600,851
(H) 解約差損益金	43,360,424
(I) 計(E+F+G+H)	△ 95,666,722
次期繰越損益金(I)	△ 95,666,722

\* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\* 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村短期日本国債マザーファンド

## 償還運用報告書

第6期（償還日2023年10月23日）

作成対象期間（2023年5月16日～2023年10月23日）

### 受益者のみなさまへ

野村短期日本国債マザーファンドの設定日以降、償還までの運用状況をご報告申し上げます。  
ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とし、流動性の確保と金融市場の短期金利水準に応じた投資成果を目指して運用を行いません。
主な投資対象	本邦通貨表示の残存期間の短いわが国の国債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
	円 銭		%	%	%	百万円
2期(2020年5月15日)	9,972		△0.1	95.7	—	467
3期(2021年5月17日)	9,974		0.0	91.8	—	262
4期(2022年5月16日)	9,964		△0.1	89.8	—	1,529
5期(2023年5月15日)	9,951		△0.1	90.2	—	1,753
(償還時)	(償還価額)					
6期(2023年10月23日)	9,647.99		△3.0	—	—	1

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

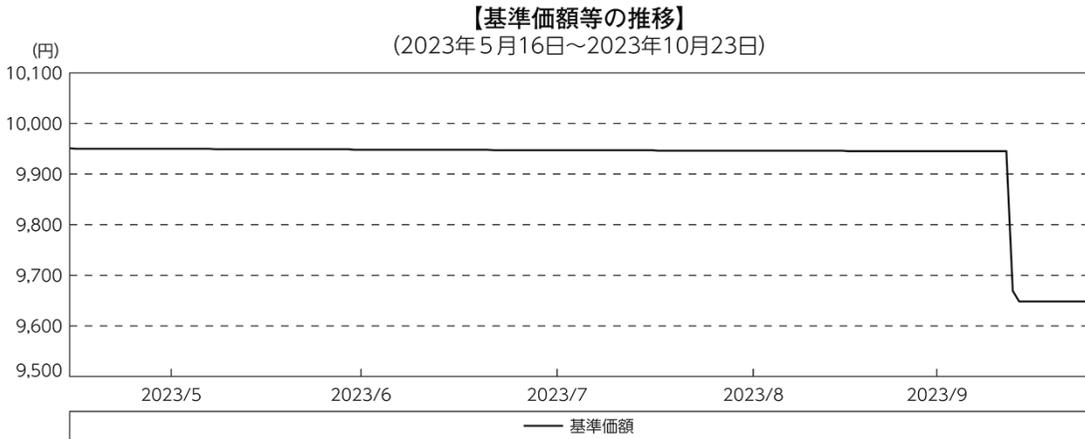
年 月 日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2023年5月15日	円 銭 9,951		% —	% 90.2	% —	% —
5月末	9,950		△0.0	90.2	—	—
6月末	9,948		△0.0	90.2	—	—
7月末	9,947		△0.0	90.2	—	—
8月末	9,946		△0.1	90.2	—	—
9月末	9,945		△0.1	91.6	—	—
(償還時) 2023年10月23日	(償還価額) 9,647.99		△3.0	—	—	—

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

(下落) 大口解約に伴う解約差損。

### ○投資環境

国内経済は、引き続き消費や雇用環境など景気全般に持ち直しの動きが見られました。このような中、日銀は2023年7月の金融政策決定会合で、長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の運用を更に柔軟化し、従前の上限であった+0.5%からの上振れを容認し、実質的な長期金利の上限を+1%とすることを決定しました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、期を通じて-0.10%～-0.30%程度で推移しました。また、無担保コール翌日物金利は-0.01%～-0.08%程度で推移しました。

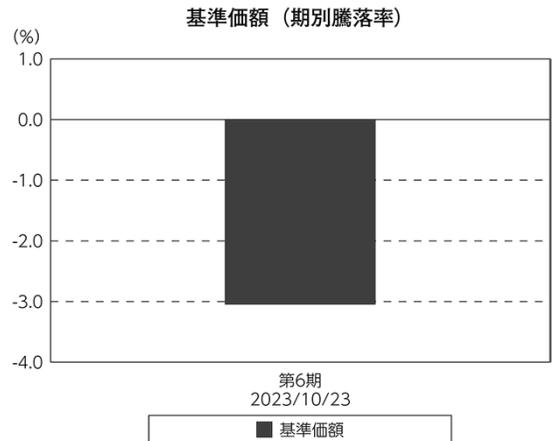
## ○当ファンドのポートフォリオ

主として残存3ヵ月程度までのTDBにより運用いたしました。

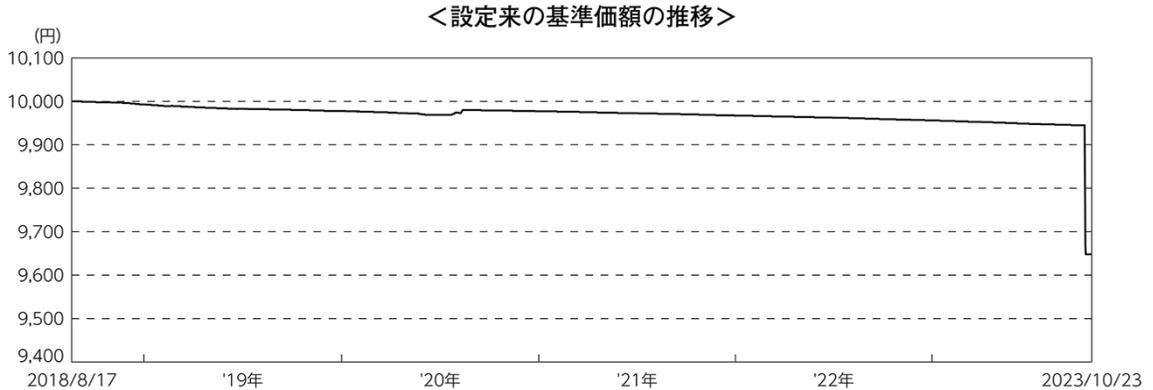
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ◎設定来の運用経過



## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時9,647.99円となりました。

設定時より残存期間の短いわが国の国債等の短期有価証券への投資を行ない、あわせて債券現先やコールローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。基準価額は大口解約に伴う解約差損や、投資している国債等のマイナス金利環境を要因とする支払利息等により下落しました。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年5月16日～2023年10月23日)

該当事項はございません。

## ○ 売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年10月23日)

## 公社債

		買付額	売付額
国		千円	千円
内	国債証券	2,480,774	1,656,249 (2,405,000)

\*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切り捨て。

\* ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年10月23日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○ 組入資産の明細

(2023年10月23日現在)

2023年10月23日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○ 投資信託財産の構成

(2023年10月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,027	% 100.0
投資信託財産総額	1,027	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年10月23日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,027,763
コール・ローン等	1,027,763
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	1,027,763
元本	1,065,261
償還差損金	△ 37,498
(D) 受益権総口数	1,065,261口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,647円99銭

(注) 期首元本額は1,762,457,442円、期中追加設定元本額は150,811,370円、期中一部解約元本額は1,912,203,551円、1口当たり純資産額は0.964799円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ストップライン付き野村ワールドボンド・ファンド 1,065,261円

## ○損益の状況 (2023年5月16日～2023年10月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,046,017
受取利息	△ 1,002,675
支払利息	△ 43,342
(B) 有価証券売買損益	37,721
売買益	40,910
売買損	△ 3,189
(C) 当期損益金(A+B)	△ 1,008,296
(D) 前期繰越損益金	△ 8,721,383
(E) 追加信託差損益金	△ 811,370
(F) 解約差損益金	10,503,551
償還差損金(C+D+E+F)	△ 37,498

\* 損益の状況の中で(E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\* 損益の状況の中で(F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。